

# 復興への願いを込めて



①全体合唱 ②黙とう ③～⑥ステージイベントの様子

東日本大震災から2年を迎えた3月11日。市内では、震災の追悼と復興への願いを込めたイベントが行われました。今月号では、「しらかわ震災復興音楽祭「希望」」を中心に、イベントの様子をお届けします。

## 全体合唱で会場が一つに

市民会館（手代町）で行われたしらかわ震災復興音楽祭では、公募で集まった27団体が多彩な歌や踊りなどを披露。午後2時46分には、震災で亡くなられた方々に哀悼の意を込めて、全員で1分間の黙とうを捧げました。

会場には、午後2時から8時まで、1,300人以上の観客が来場し、復興への願いを込めた音楽に聞き入っていました。最後は、参加者と観客全員で市民歌「このまちがすき」、NHK復興支援ソング「花は咲く」を合唱し、音楽祭を閉めくりました。

## 音楽の力でまちに活力を

しらかわ音楽の祭典実行委員会の「音楽で白河のまちを元気づけたい」、「相双地方から白河に避難されている皆さんと一緒に何かイベントをしたい」という思いから開催された、しらかわ震災復興音楽祭。

ステージでは、参加した団体による、震災の追悼、復興の願い、支援への感謝の気持ちなど、それぞれの想いを込

めた演奏や合唱などが披露されました。

会場には、相双地方から本市に避難されている方が、浪江やきそば、双葉町復興黄色いダルマ、大堀相馬焼などのブースを出店し、元気な笑顔で来場者を引きつけていました。また、2階には、手作り作家の市「キラキラサロン」が設置され、来場者はかわいい手作り雑貨に目を輝かせ、マッサージに満足した様子でした。

浅川なおみ委員長は「震

災復興音楽祭には、合唱、踊りや民謡など、幅広い分野の団体が参加し、予想以上に多くの方に来場していただき、とてもうれしく思います。皆さんの復興への思いを肌で感じました。次は参加したいという声も多く、震災を風化させないためにも、来年以降も開催していきたいです」と話していました。

会場が一体となって合唱する様子からは、復興へ向けた新たな「希望」が伝わってきました。



⑦復興黄色いダルマ会の皆さん（双葉町） ⑧大堀相馬焼ブース ⑨⑩来場した子どもたち ⑪浪江やきそばを作る皆さん ⑫キラキラサロンの雑貨コーナー



## 復興の誓いを新たに

3.11ふくしま復興の誓い2013

3.11ふくしま復興の誓い2013の白河会場となった市立図書館（道場小路）では、県文化センター（福島市春日町）で行われた「東日本大震災犠牲者追悼式」の映像が放映され、来場者は、映像にあわせ、午後2時46分に黙とうを捧げました。



▲国の追悼式の映像放送を見る来場者